

TS・GNSS測量管理システム

「GNSS受信機」「自動追尾型トータルステーション」による3Dデータを利用した工事測量

コード 測量管理TS 9858 / 測量管理GNSS 9859

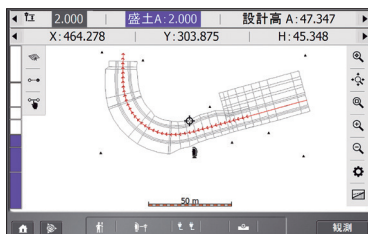
各種工事測量 Trimble SCS900

一つのコントローラーで「GNSS受信機」「自動追尾型トータルステーション」に接続が可能。「現況測量」「杭打ち」「出来高計測」「土量計算」等が可能です。「設計データ」と「背景図(平面図)」をコントローラーに表示可能。図面上のどの位置にいるのかが、リアルタイムに分かり、現況測量も効率良く作業性が向上します。



GNSS (RTK-GPSシステム)

「背景図」「3次元データ」を取り込むことで、単なる「杭打ち」だけではなく、「丁張り」「出来高計測」も可能です。



現況測量画面

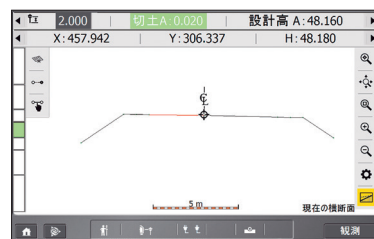


自動追尾トータルステーション



杭打ち画面(ライン)

図面ラインを杭打ちに使用できます。基点からの距離・ライン上からの離れが求められます。



出来形確認

マシンガイダンスのデータを取り込み、出来形の確認が可能です。横断面への表示も可能です。

システム紹介

viii



「バックホウマシンガイダンスシステム」や「マシンコントロールシステム」に利用する「3次元設計データ」を、重機コントロールだけでなく、「GNSS受信機」「自動追尾型トータルステーション」に利用することで、「面的な出来形計測」や「現況測量」「土量計算」等が可能になります。一つ上の土木施工支援が可能になります。

